

ウスバカマキリ

Mantis religiosa

兵庫県：A

環境省：情報不足(DD)

種の概要

体長55～60mm程度。体色は緑色型が乳白色味を帯びた緑色で前翅前縁は赤褐色、褐色型は乳白褐色から淡褐色で、前翅前縁に沿って茶褐色。後翅は前縁部～翅端部を除いてほぼ無紋で半透明。前脚基節基部付近に黒色の楕円形紋がある。草地や河川敷の草原など明るく開けた環境に生息し、成虫は夏から秋に見られる。



写真提供：相坂耕作

国内分布

北海道、本州、四国、九州、南西諸島

県内分布記録

小野市、加西市、神河町、丹波市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○		○	○		○

特記事項

20年程前には乳白色味を帯びた薄茶色の体色の個体が生息していたが、近年はほとんどが乳白色味を帯びた緑色の個体ばかりになっている。2年前に飼育下で卵塊を産ませたが無性卵のため孵化しなかった。

確実な産地は播磨平野のみ。現状ランク維持。

保護上の留意点